中期経営計画2年目の進捗と成長戦略

株式会社東京衡機（証券コード:7719）

2026-11-05

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

中計2年目、中間純利益*が黒字転換で利益成長が進展

2026年2月期

中計初年度

収益性改善

営業利益率

3.4% 実績

2027年2月期 現在

中計2年目

利益成長と高付加価値化

営業利益率

6.2% 業績予想

2028年2月期

中計最終年度

収益基盤の確立・新事業創出

営業利益率

10% 目標

中間純利益*:利益・親会社株主に帰属する中間純利益が黒字転換
※営業利益率は、2026年2月期は実績、2027年2月期は業績予想（2026年4月14日公表）、2028年2月期は中期経営計画の目標

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

中間期は売上高33.1%増、最終損益は黒字転換

営業利益率（中間期）

前年同期 → 当中間期

0.1% → **5.4%**

売上高

2,452百万円

前年同期比 +33.1%

営業利益

132百万円

前年同期 1百万円

親会社株主に帰属する中間純利益

76百万円

黒字転換（前年同期 △22百万円）

※2027年2月期 中間期（2026年3月～8月）の連結業績。百万円未満切捨て

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

数字で見る、成長の手応え

試験機事業の売上高

+37.6%

前年同期比（試験機製品）

試験機事業の売上高 年平均成長率

約12%

2023年2月期→2026年2月期

デジタル事業 営業損益

△27→+77

百万円（前期通期→当中間期）

自己資本比率

36.1%

前期末 34.0%

ROE

8.1%

2026年2月期 実績（前期 4.1%）

株主数（前年同期比）

約2.3倍

3,261→ 7,602名

※2027年2月期中間期の実績（百万円未満切捨て）。試験機事業の年平均成長率は各期決算短信のセグメント売上高より算出。株主数は株主名簿（2025年8月末・2026年8月末）より

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

お客様の近くへ、営業拠点を拡大

広島　大阪　名古屋　豊橋　相模原

広島オフィス

半年で受注10件
（本年4月に紅梅精機との業務提携）

※2026年9月末時点

名古屋オフィス

グループ共同拠点

試験機×デジタル×エンジニアリング

中部の製造業のお客様へ

3事業のシナジーにより、さらなる成長を狙う

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

成長市場「造船」で活きる、当社グループの技術

造船業界はいま

官民で

1兆円投資

2035年に国内の建造量を倍増へ

約900万 → 1,800万総トン（政府目標）

広島オフィスから

試験機事業

船体の鋼板・溶接部の強度評価

引張・曲げ・疲労試験

エンジニアリング事業

揺れる箇所のゆるみ対策

エンジンまわりや配管にゆるみ止めナット

デジタル事業

溶接ひずみ・船体構造の解析

ASTOMのCAE技術で、ものづくりを効率化

最近の動き

2026年8月　名村造船所

佐賀・伊万里に大型ドックを新設へ（国内では2017年以来）

2026年9月　造船業再生基金

初の支援認定。造船3グループに計2,131億円

2026年9月　九州の次世代船舶

政府の戦略産業クラスターに。官民で3,000億円

2026年10月　三菱重工業

休眠していた岡山・玉野の造船設備を27年度に再稼働へ

※当社グループの技術の応用が想定される分野を示したものであり、具体的な受注・取引を示すものではありません。出典：国土交通省「造船業再生ロードマップ」（2025年12月）、日本経済新聞（2026年8月19日、9月4日、9月7日）、共同通信（2026年10月19日）をもとに当社作成

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

フィジカルAI、コンサルティングサービスを開始

フィジカルAI＝AIが現実の工場や機械の動きを理解し、動かす技術

生産ラインを仮想空間にそっくり再現

デジタルツイン化

技術検証中

部品の強さの計算を、短い時間で

構造解析の簡易・高速化

技術検証中

提案・技術指導・短期開発で支援

コンサルティング

2026年10月開始



サービス紹介ページ
physical.lp.astom.co.jp

NVIDIA、NVIDIA Omniverseは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

Omniverseで、設計と現実の「ズレ」を確かめる

デジタルツイン

工場の「双子」を仮想空間につくる

考え方

→

Omniverse

その「双子」を本物どおりに動かす

道具（ロボットやAIの学習にも使える）

これまで　仮想空間づくりに膨大な人手　→　Omniverse　条件設定や結果の確認をAIで自動化

ASTOMの検証事例

流体解析
条件を変えて、その場で見える化

複雑な接触
ねじ込みなどの動きを計算で検証

条件設定の自動化
AIがCADデータに物理条件を設定

今後の計画　2026年度 検証 → 2027年度 PoC・初期顧客 → 2028年度 事業化　／　最新の事例はサービス紹介ページで随時公開

※本サービスはASTOM社が独自に提供するものであり、NVIDIAによる認定・保証・後援を受けたものではありません。NVIDIA、NVIDIA Omniverseは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

FFT GYRO、東京大学との研究が前進



FFT GYROで何が変わる？

ドローンを台に固定したまま360°自由に回転させ、墜落の心配なく飛行試験や制御の調整を何度でも試せる

風洞試験で分かること

風を受けたときに機体がどう動くか（空力特性）を、台の上で安全に計測・分析できる

1

2026年4月

東大キャンパスにFFT GYROを設置し、開発環境を整備

2

2026年7月・9月

東大本郷キャンパスの風洞で計測（風による空力特性を分析）

3

2026年10月

モーションキャプチャ試験で比較用データを取得

※「東京大学との共同研究」の表記は、関係先の確認後に使用

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.

サステナビリティの取り組み

地域・次世代・社員とともに、持続的な成長をめざします

地域・社会

のんほいパークを応援

あいぎんSDGs私募債を活用した寄付と、アジアゾウの動物スポンサーで豊橋の動植物公園を支援



次世代の育成

とよはし☆ロボコンズ

世界大会にも出場した豊橋技術科学大学のロボコンチームに協賛し応援


東京衡機試験機、豊橋技術科学大学ロボコン同好会「とよはし☆ロボコンズ」のNHK学生ロボコン2026出場を応援

地域・スポーツ

千葉ロッテ協賛試合

2026年6月21日に協賛試合を開催。多くの方に当社グループを知っていただく機会に


創業100年超の東京衡機、次の100年へ。6月21日 千葉ロッテマリーンズ公式戦で冠協賛試合を開催

Copyright © TOKYO KOKI CO. LTD. All Rights Reserved.